

「幼児期の終わりまで育ってほしい姿」をふまえて

- ★保育園・幼稚園は、どのように学びに向かう力を育む保育・教育を 行っているのか
- ★小学校は、どのような支援・指導を行うことで主体的な学びに つなげていくことができるのか

顔が見える関係作り

園児・児童の実態を知る

園児・児童の思いを生かした交流

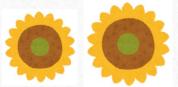
子どもが安心して、のびのびと学ぶことを楽しみ、 人とのかかわりを大切にする主体的な学びに向かうことにつながる











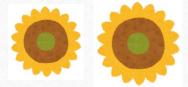
令和4年度の推進内容

- 幼保小連携推進委員会をもち、推進テーマの確認をし、年間計画を立てる。
- 幼保小連携推進委員会を重ね、研修会や交流を継続することを通 して研究内容を深める。
- 研修内容を生かした保育参観、授業参観、授業研究会を行う。
- ・ 成果と課題をまとめ、目指す児童の姿に近づくような更なる手立てをともに考える。

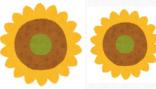








連携推進事業の実際



- 俣野保育園の年長園児と深谷小学校1年生が、深谷小学校にて、初の顔合 わせ交流会(全員でのレクやグループ遊び)を行う。
- 第2回推進委員会で、交流活動の振り返り、各園・各校の現状についての 情報交換・次回以降の交流計画の確認を行う。
- 小学校教員が俣野保育園の保育参観をし、アプローチカリキュラムの実際 を知る。
- 保育園の運動会、小学校の50周年記念式典、小学校生活科研究授業参観 など、各園・各校の支援・指導、子どもの育ちの様子を知る。
- 第2回目の交流会では、1年生が秋の実などを使った手作りおもちゃでー 緒に遊んだ後、園児は小学校の広い校庭で遊具遊びなどを楽しむ。
- 第3回目の交流会では、深谷小学校にて1年生が園児に学校のことを伝え たり、教室や特別教室などの学校案内を行ったりする予定。





第1回目の交流会のようす(7月)

当初は俣野公園での交流会を予定していましたが、熱中症対策として小学校体育館に会場を変更しました。全体でレクをした後で、小グループに分かれて、各グループの1年生

が計画した遊びを俣野保育園年長児と一緒に

楽しみました。

「はじめまして!」 なかま集めゲームで 集まった友達と自己 紹介。

「さようなら、また会おうね。」 初めての交流会は、お互いに少し 緊張の面持ちでした。





ハンカチ落とし グループ遊びを一緒に楽しみました。

第2回目の交流会のようす①(11月)

1年生が秋探しで集めた落ち葉やどんぐり、まつぼっくりなどを使った楽しい手作りおもちゃやを開店し、園児に楽しんでもらいました。1回目の交流活動を振り返り、さらに相手意識・目的意識をもった交流会を計画・運営する1年生の成長した姿が見られました。



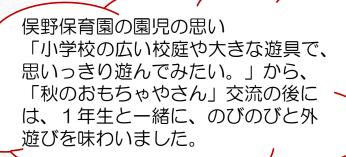




第2回目の交流会のようす②(11月)













第2回推進委員会(7月)





- ●第1回目の交流活動の振り返り
- ●保育園と小学校の園児・児童の実態や思いに ついての情報交換
- ●育てたい子どもの姿について意見交換
- ●今後の交流活動や参観についての具体的な計画

相互に共有

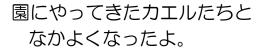
(保育園の希望意見から・・・)

- 自然とふれあえるもの
- 簡単なものなら一緒につくってもよい
- お互いに知っている遊びをする
- ◎学校の校庭の遊具で遊ぶ⇒次回の交流活動に取り入れていこう!





保育参観(8月)





8月、小学校の教員が俣野保育 園の保育参観に行きました。 園児の普段の生活の中での学びの 姿、保育園のアプローチカリキュ ラムの実際を知ることができまし た。小学校でのスタートカリキュ ラムの参考となる子どもたちの姿、 支援者の姿を見学することができ 有意義なものとなりました。

年齢に応じて工夫された遊びの場づくり





トマトが赤くなったよ。





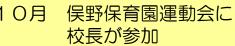
園や学校の行事参観



















今後の参観・交流予定(1月・2月)

【1月】

- 園の職員が小学校の生活科授業研究会に参加 どきどきわくわく だいさくせん ~年長さん 小学校へいらっしゃい!~
- 小学校児童から、交流をしてきた保育園年長児にビデオレターまたは、

招待状を送る

【2月】

- 第3回交流会
 - ★年長園児に小学校のことを伝える
 - ★グループごとの学校案内
 - ★アサガオのたねプレゼント など















成果と課題





★成果★

- 安全面に配慮しながら、直接、交流活動や相互参観を重ねてきたため、子どもも職員 も顔の見える関係性を築くことができた。
- 子どもの育ちや学びの実態を知り、接続期のカリキュラム作りに生かすことができる。
- ・交流活動の振り返りや計画を具体化する話合いを行うことで、子どもの思いや育てたい資質・能力の共有化を図ることができた。

★課題★

- 当初予定していた公園での交流が、猛暑のため間近になって交流場所を変更した。今年度の実績をもとに年間計画立案時に、時期・場所・内容を吟味したい。
- 保育園と小学校が気軽に歩いて行き来できる距離ではないため、タブレットを利用したオンライン交流等を取り入れることで、さらに交流を深めていきたい。



